

教員・教育委員会職員対象 311被災地視察研修について

- 1 開催日 2022年・令和4年3月26日(土)～29日(火)3泊4日
- 2 主催 国立大学法人宮城教育大学「311いのちを守る教育研修機構」
- 3 対象 南海トラフ巨大地震など災害に備え、防災教育と学校防災に取り組む地域の教員、教育委員会職員、関係部局職員等
- 4 定員 最大30人程度を想定(数人規模でも実施予定)
- 5 視察地 石巻市大川小学校震災遺構・門脇小学校震災遺構、南三陸町戸倉小学校跡地、仙台市荒浜小学校震災遺構、気仙沼市立向洋高校震災遺構、陸前高田市伝承館、釜石市鶴住居地区等
※詳細は別紙日程表を参照
- 6 参加費 現地参加費：1人当たり32,000円
＜仙台までの交通費は各自負担＞
JR仙台駅集合、仙台駅・仙台空港解散
※参加費は宿泊料
※その他、バス代・講師謝礼・施設見学料等は主催者負担
- 7 その他 コロナ禍対策等については別紙参照
- 8 申し込み 別紙の申し込み方法を参照

締め切りは2022年・令和4年2月25日(金)

(原則先着・定員になり次第締め切り)

◎申し込み方法

- ・下記 QR コードを読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力



- ・ QR コードが読めない場合は、下記 URL より入力

<https://forms.gle/gKxszx9PqMA4mCBc9>

- ・ 上記対応不可の場合は、別途、個別にメールでやりとり可能
機構担当教員・武田真一メール s-takeda@staff.miyakyo-u.ac.jp

武田携帯 090-7667-6538

- ・調整を経て、参加いただく予定になった方には後日、参加費振り込み情報などを盛り込んだ詳細案内を送付します

締め切りは2月25日(金)

先着を基本とし、定員になり次第受付終了

(予定)311被災地視察研修日程表

3月26日(土)			コンビニ等	トイレ	
12:30		仙台駅東口 バスプール (12:20集合) 出発	○	○	
13:30		道の駅三滝堂	○	○	
14:30	~	17:00			
		気仙沼向洋高校遺構・伝承館着 視察 ・指定避難先の高台が津波にのまれ、住民93人が犠牲になった波路上的語り部案内 ・校舎4階まで津波に襲われ、遺構として保存された校舎と伝承館を視察	語り部 案内	小野寺 敬子氏 伝承館 語り部	○
17:00	~	18:30	○	○	
大槌町・ホテルはまぎく泊					
3月27日(日)			コンビニ等	トイレ	
8:30		ホテル発	○	○	
9:10	~	11:45			
		釜石市鷗住居・いのちをつなぐ未来館着 視察 ・釜石東中生と鷗住居小生が率先して高台避難し、難を逃れた現場を視察防災センターに逃げて160人近くが犠牲になった現場の視察 ・「いのちをつなぐ未来館」職員になった東中卒業生・川崎杏樹さんらの案内	講師	川崎杏樹氏	○
12:45	~	14:30	○	○	
		陸前高田着 昼食・視察 ・岩手県最大の犠牲が出た被災地の被災、復興の現場を視察 ・国営祈念公園で伝承施設見学など			
15:30	~	17:30			
		南三陸町戸倉小着 視察 ・児童約90人が高台へ避難し、難を逃れた現場を視察 ・当時の校長麻生川敦氏の案内と意見交換	講師	麻生川 敦 氏	
17:30		18:30			
南三陸町・いりやど泊					
3月28日(月)			コンビニ等	トイレ	
8:30		ホテル発	○	○	
9:00	~	11:30			
		石巻市大川小着 視察 ・遺族74人と教員10人が犠牲になった現場を視察 ・遺族で語り部活動をする元中学教員佐藤敏郎氏の案内	講師	佐藤 敏郎 氏	仮設
12:15	~	13:15	○	○	
		女川町着 昼食			
14:30	~	17:30			
		石巻市・旧門脇小学校跡地着 視察 ・500人以上が犠牲になった南浜地区の小学校の避難を、当時の校長鈴木洋子氏の案内で視察 東松島市野蒜地区着 視察 ・指定避難先の体育館で多くの犠牲、引き渡して学校責任認定の学校、高台移転の先進例	講師	鈴木 洋子 氏	○
18:30			○	○	
仙台・ホテルビスタ仙台泊					
3月29日(火)			コンビニ等	トイレ	
8:30	~	11:30			
		避難所運営の実際とワークショップ(90分) ・避難先になった学校の実際について、元石巻西高校校長、斎藤幸男氏の講話とワークショップ 視察総括・グループワーク(90分) ・グループに分かれて視察研修の総括	講師	斎藤 幸男 氏	○
11:30	~	12:30			
		バス移動(車中で各自持ち込み昼食)			
12:30	~	14:30			
		仙台市荒浜小学校遺構着 視察 ・津波に襲われ、地域住民の避難先にもなった現存校舎を視察 ・宮教大開発の手引書により遺構活用の防災教育を考察			○
15:00			○	○	
仙台空港着					
16:00			○	○	
仙台駅着					
備考					

■コロナ禍対応・実施中止の判断について

研修実施に当たり、新型コロナ感染拡大防止の観点から、以下の対応を取らせていただきます。ご理解のうえ、ご参加をお願いします。

▼感染状況の変化に伴う判断

- ・視察対象地で感染が拡大し、緊急事態宣言等の措置が取られた場合は、中止いたします
- ・実施、中止の判断は、10日前、3月16日(水)までに行い、速やかに通知いたします
- ・実施の方針を決めた後でも、状況変化で中止になる場合があります
- ・その場合は逐次速やかに通知いたします
- ・参加予定者の勤務地、居住地が緊急事態宣言の対象地域に指定された場合、または圏域を超えた移動の自粛が求められた場合などは、参加をお断りすることがあります

※中止の場合の参加費について

主催者判断による中止の場合は全額返還します。それ以降の参加者事情によるキャンセルは全額徴収を基本に個別に協議させていただきます

(仙台までの旅費は各自負担となりますので、中止の場合のキャンセル料負担などは各自の対応となります。ご了承ください)

▼参加者の参加前の体調管理

- ・参加者は研修前の体調管理に万全を期してください
- ・2週間前からの体調管理を記録する確認票を提出してもらいます

▼参加者の期間中の対応

- ・研修開始直前(集合時点)の検温、体調申告に協力をお願いします
- ・研修期間中の定期的な検温、体調申告に協力をお願いします
- ・期間中はマスク着用にご協力をお願いします(必要枚数を各自、自己調達してください)

▼主催側の対応

- ・移動のバスは密を極力回避した形で着席していただきます
- ・車内の除菌、換気などは運行会社の対応を確認済みです
- ・宿泊先の感染対策は確認済みです
- ・研修で利用する施設の感染対策は確認済みです

以上